

日本英文学会東北支部ニュースレター

Newsletter

The Tohoku Branch of the English Literary Society of Japan

2013年6月号 (June 2013)

発行 日本英文学会東北支部 〒981-8511 仙台市青葉区土樋 1-3-1 東北学院大学 英語英文学研究所内
TEL022-264-6401 FAX 022-264-6530 Email: tohoku@elsj.org URL: <http://www.elsj.org/tohoku/>

支部長挨拶

日本英文学会東北支部長 箭川 修

本年4月より支部長を務めることになりました。就任早々ではありますが、早く次の方にバトンタッチしたいというのが正直な気持ちです。副支部長には佐々木和貴先生（秋田大学）が就任されました。本部役員としては、支部長が理事（任期2年）を、佐々木副支部長が評議員（任期4年）を務めることとなります（本部役員の任期は全国大会当日から全国大会前日会議までとなっており、支部役員の任期とはズレがあります）。なお、支部長就任に伴って、無用な誤解を避けるために、『東北英文学研究』の編集委員を辞任させて頂きました。後任は鈴木雅之先生（宮城学院女子大学）にお引受け頂きました。

会長の在籍する大学に事務局を置くとの慣行に従って、事務局体制も変更されました。事務局長には前事務局庶務係の福士航先生（東北学院大学）が、事務局員には井出達郎先生（東北学院大学）が着任されました。事務局のメールアドレスは変わりませんが、郵便物等の宛先や電話／ファックス番号が変更になりましたのでご注意ください。

本部理事会では、会長支部持ち回り制度により、東京大学・関東支部に依存する体制を改め、佐々木徹新会長（京都大学）を中心に、支部の集合体としての全国組織としての運営を本格化させています。3月の全国理事会では、既定路線であったとはいえ、事務局長に廣田篤彦先生（京都大学）、大会準備委員会書記に瀬名波英潤先生（北海道大学）が支部から選出されることになりました。

学会がかかわる刊行物に関して、ネット社会や国際化に向けた対応が求められています。『英文学研究』およびその英文号 *Studies in English Literature* に掲載された論文については、その著者が所属機関や個人のホームページ等の電子媒体に転載する場合、刊行から1年以降にこれを許可することになりました。*Studies in English Literature* はグローバルな雑誌として展開する可能性を視野に入れた検討が行われることになっています。また、『英文学研究支部統合号』については、3月理事会において、国立情報科学研究所レポジトリ（CiNii）掲載について各支部で検討することが求められ、東北支部では4月理事会において、『東北英文学研究』の投稿規定に「掲載論文を電子化して公開する権利は、日本英文学会が有するものとする。」という一項を加えました。

4月理事会において順調に船出したかに思われた支部の新体制ですが、その後に本部から逆風が吹いてきました。大きすぎる内部留保は望ましくないという本部の方針を実現するものと考え、東北支部では、理事会で知恵を絞り、意図的に年度会計を赤字にして内部留保を減らしていく目的で、支部会員の研究振興に資するものとして、2012年度年度から「東北支部英文学研究振興事業」（若手研究者のためのトラベルグラント、支部大会シンポジウムをもとにした出版の助成、特別講演の支援）を始めました。しかし、これが支部会計の大幅な赤字を産んでおり、このままでは近い将来に支部会計の破綻が予想されるため、改善が必要との指摘が本部事務局から現本部理事の大河内先生に伝えられました。今年度の活動とそれを実現するための予算案は4月の支部理事会において承認されており、今年度の対応は若干にとどめざるを得ないかもしれませんが、朝令暮改とまでは言えないものの、「研究振興事業」の早急な見直しが不可避と思われます。

今年度の支部大会は11月23日（土）～24日（日）に東北工業大学で開催されます。研究発表のご応募をお待ちしています。また、支部大会の開催校をお引き受け頂きました東北工業大学の会員の皆様には心より感謝申し上げます。

入退会手続きおよび会費納入について

全ての東北支部会員の入退会手続きおよび会費納入は、支部事務局ではなく本部事務局を通じて行われることになります。日本英文学会 HP (<http://www.elsj.org/>) に入退会に関する情報がございますのでご覧下さい。詳しくは本部事務局 (ejimu@elsj.org) へお尋ねください。年会費は、本部会費 (7000 円) + 支部会費 (1000 円) です。

第 68 回支部大会の開催について

2013 年 4 月 20 日に第 1 回理事会および大会準備委員会が開催され、日程等の協議が行われました。審議の結果、第 68 回大会は以下のように行われることになりました。

日時：2013 年 11 月 23 日 (土)・24 日 (日)

場所：東北工業大学

研究発表応募要項

大会第 1 日目には研究発表を行う予定です。研究発表をご希望の方は、(1) 研究発表概要 (2000 字・審査用)、(2) 概要の要旨 (400 字・採用された場合に大会プログラムに掲載)、(3) カヴァーレターの 3 点を 6 月 30 日 (日) までに MS Word 形式の添付ファイルにして、東北支部事務局 (tohoku@elsj.org) までお送りください。

また、(3) のカヴァーレターは、東北支部 HP (<http://www.elsj.org/tohoku/>) よりダウンロードしたものをお使い下さいますよう、お願い申し上げます。

シンポジウムについて

大会第 2 日目に行われる予定のシンポジウムについては、現在次のような企画が進行中です。どうぞご期待ください。

◆英文学部門：テーマ「フィクションとポリティクス」(仮)

司会・講師 福士 航 (東北学院大学)

講師：岩田美喜 (東北大学)・小林亜希 (米沢女子短大)・服部典之 (大阪大学)

◆米文学部門：テーマ「ユダヤ系アメリカ文学とゴーレムの表象」(仮)

司会・講師 伊達雅彦 (尚美学園大学)

講師：佐川和茂 (青山学院大学)・坂野明子 (専修大学)・大場昌子 (日本女子大学)

◆英語学部門：テーマ・司会・講師ともに調整中

大会準備委員について

今年度の大会準備委員は以下の会員が務めます。

英文学部門：福士 航 (東北学院大学) 古河美喜子 (秋田高専)

米文学部門：飯田清志 (仙台高専) 熊本早苗 (岩手県立大学)

英語学英語教育部門：奥野浩子 (弘前大学) ルプシャ・コルネリア・ダニエラ (岩手県立大学)

開催校委員：高橋克明 (東北工業大学)

理事会報告

2013 年 4 月 20 日に、本年度第一回理事会が開催されました。以下にその議事録を掲載します。

日本英文学会東北支部 2013年度第1回理事会
議 事 録

日 時 平成25年4月20日(土)・15:00~17:00
場 所 東北学院大学土樋キャンパス 8号館3階 第1会議室

出席者(順不同・敬称略)

支 部 長 箭川修(東北学院大学)
副 支部長 佐々木和貴(秋田大学)
理 事 飯田清志(仙台高専) 石橋敬太郎(岩手県立大学)
遠藤健一(東北学院大学) 大河内昌(東北大学) 大西洋一(秋田大学)
奥野浩子(弘前大学) 川田潤(福島大学) 鈴木亨(山形大学)
鈴木雅之(宮城学院女子大学) 村上東(秋田大学)
※岩田美喜理事(東北大学)、宇津まり子理事(米沢女子短大)、
金子義明理事(東北大学)は都合により欠席
事 務 局 福士航(事務局長)
※井出達郎事務局員は都合により欠席

議 題

- (1) 2012年度事業報告(資料1)
事務局が提示した事業報告が承認された。
- (2) 2012年度決算報告(資料2)
事務局が提示した決算報告が承認された。
- (3) 2012年度監査報告(資料2)
監査委員の遠藤健一理事と事務局より監査報告について説明があり、承認された。
- (4) 2013年度事業計画について(資料3)
事務局が提示した事業計画が承認された。
- (5) 2013年度予算について(資料4)
2013年度予算案に対して、大河内理事より、今年度の研究奨励事業費案は研究奨励事業すべてに応募があった場合を想定して作成してあるが、昨年度の支出実態とはかけ離れており、来年度以降日本英文学会本部に支部予算案を提示する必要が生じるので、その際には前年度実績に基づいた案を作成するべきではないかと意見が出された。種々の議論の結果、事務局提案が承認された。
- (6) 支部統合号の電子化について(資料5)
日本英文学会が進めている『英文学研究 支部統合号』の電子化にあわせて、『東北英文学研究』投稿規定の改定案が事務局より提案され、承認された。
- (7) その他
特になし。

以 上

編集委員について

今年度の編集員は以下の会員が務めます。

英文学部門 大西洋一(秋田大学) 鈴木雅之(宮城学院女子大学) 中村隆(山形大学)
米文学部門 伊達雅彦(尚美学園大学) 筑後勝彦(富士大学) 村上東(秋田大学)：編集委員長
英語学英語教育部門 朝賀俊彦(福島大学) 阿部潤(東北学院大学・非) 新沼史和(盛岡大学)

『英文学研究支部統合号』電子化について

支部長挨拶にもありましたように、『東北英文学研究』第4号（『英文学研究支部統合号』第6巻に合本で発行）以降に掲載される論文は、電子化して公開される見込みです。それに伴いまして、『東北英文学研究』第1号から第3号までに掲載された論文に関しても、電子化して公開する準備が進められています。論文が電子化され CiNii 上に公開されますと、より広く研究者と社会に向けて成果を公開できることとなります。事務局より、該当する論文の執筆者に、電子化掲載の許諾を伺う E メールをお送り致します。ご承知おき下さい。

事務局の体制について

2013年4月より、事務局が東北大学から東北学院大学へ移転しました。事務局長は東北学院大学准教授・福士航が務め、事務局員には同大准教授・井出達郎が就いております。事務局へのご連絡は、電子メール（tohoku@elsj.org）をお使いください。